



Gryphon® シリーズ

GD4130 GD4330 GBT4130

QuickScan® QD2130

PowerScan® PD7130 PBT7130



スキャナ設定ガイド

REV.H 2010年8月

データロジックスキャニング株式会社
東京都品川区西五反田 7-13-5 DK 五反田ビル
<http://www.datalogicscan.jp>

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で複製・配布することを禁じます。本書の内容は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。本書の内容には万全を期していますが内容を保証するものではありません。ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご購入された販売店もしくはデータロジックスキャニングまでお問合せ下さい。また、本書を利用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。

目次

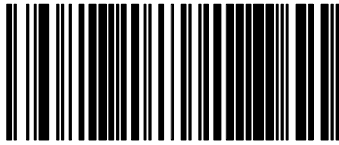
1. 初期設定およびユーザー設定	6
初期設定	6
カスタム設定	6
ソフトウェアバージョン	6
RS232C ケーブル接続方法	7
キーボードウエッジ ケーブル接続方法	7
USB ケーブル接続方法	8
ベースステーションセットアップ (GBT4130)	8
2. RS-232, USB-COM 設定	10
インターフェイスの選択	10
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)	11
パリティ (RS232 のみ設定可能)	12
データビット (RS232 のみ設定可能)	12
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	13
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	13
キャラクタ間遅延(RS232, USB-COM 設定可能)	14
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	15
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	15
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	16
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	16
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	17
有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	17
3. キーボードウエッジ, USB キーボード	18
インターフェイスの選択	18
キーボード言語	19
Caps Lock	19
Num Lock	20
キャラクタ間遅延	20
USB キーボード ポーリングレート	21
4. 機能設定	22
2 度読み防止時間	22
読取モード設定	23
スリープモード設定	24
読取表示	25
読取確認音	25
読取確認音質	26
読取確認音長さ	26
読取確認音量	27
読取確認 LED 表示	27
グリーンスポット表示	28
5. バーコード設定	29
EAN/JAN13	29
EAN/JAN13 チェックデジット送信	29
EAN/JAN13 デコード検証回数	30
EAN/JAN 8	31
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	31
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	31
EAN/JAN 8 デコード検証回数	32
UPC-A/UPC-E	33
UPC-A	33

UPC-A	チェックデジット送信	33
UPC-A	→ EAN/JAN 13 変換	33
UPC-E		34
UPC-E	チェックデジット送信	34
UPC-E	→ EAN/JAN 13 変換	34
UPC-E	→ UPC-A 変換	35
UPC-E	デコード検証回数	35
GTIN	変換	36
EAN/JAN / UPC	アドオン	36
Code39		37
Code39	チェックデジット計算	37
Code39	チェックデジット送信	37
Code39	スタート/ストップキャラクタ送信	38
Code39	Full ASCII 変換	38
Code39	デコード検証回数	39
Code39	桁数	40
Code39	桁数設定	40
Code128		41
Code128	チェックデジット送信	41
Code128	デコード検証回数	42
Code128	桁数	43
Code128	桁数設定	43
GS1-128		44
12 OF 5		45
12 OF 5	チェックデジット計算	45
12 OF 5	チェックデジット送信	45
12 OF 5	デコード検証回数	46
12 OF 5	桁数	47
12 OF 5	桁数設定	47
CODABAR		48
CODABAR	チェックデジット計算	48
CODABAR	チェックデジット送信	48
CODABAR	スタート/ストップ キャラクタ送信	49
CODABAR	スタート/ストップ キャラクタセット	49
CODABAR	デコード検証回数	50
CODABAR	桁数	51
CODABAR	桁数設定	51
Code93		52
Code93	チェックキャラクタ計算	52
Code93	チェックキャラクタ送信	53
Code93	デコード検証回数	53
Code93	桁数	54
Code93	桁数設定	54
GS1 DataBar オムニダイレクト		55
GS1 DataBar オムニダイレクト	EAN/JAN128 エミュレーション	55
GS1 DataBar オムニダイレクト	デコード検証回数	56
GS1 DataBar エクспанテッド		57
GS1 DataBar エクспанテッド	EAN/JAN128 エミュレーション	57
GS1 DataBar エクспанテッド	デコード検証回数	58
GS1 DataBar エクспанテッド	デコード桁数	59
GS1 DataBar エクспанテッド	桁数設定	59
GS1 DataBar リミテッド		60

GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション	60
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	61
6. データ編集	62
データ編集の概要	62
Prefix / Suffix	62
AIM ID	63
ラベル ID	63
ラベル ID コントロール	63
ラベル ID セット	64
大文字小文字変換	67
キャラクタ変換	68
7. Bluetooth 設定(PBT7130, GBT4130)	69
ベースステーション接続 (PBT7130)	69
ベースステーションの接続確認 (PBT7130)	69
ベースステーション接続 (GBT4130)	70
ベースステーションの接続確認 (GBT4130)	70
PC 接続 - サーバーモード	70
PC 接続 - クライアントモード	70
BT セキュリティーモード	71
BT PIN コード	71
BT ポーリングレート	72
ビープ音質	73
ビープ音量	73
ビープ音長さ	74
ベースステーション確認音	74
通信圏外アラーム	75
パワーダウン時間	76
バッチモード	77
付録 A. LED 表示とビーパー音	78
GD4130, QD2130, GBT4100 スキャナ本体	78
GBT4100 ベースステーション	78
PD7130, PBT7100 スキャナ本体	79
PBT7100 BT 機能	79
付録 B. 初期値一覧	80
付録 C. キーパッド	83
付録 D. ASCII チャート	85

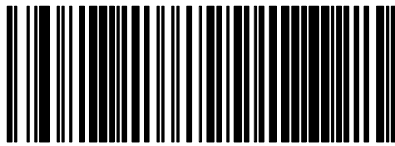
1. 初期設定およびユーザー設定

初期設定

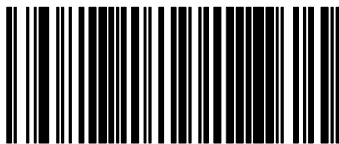


設定を工場出荷時に戻す

カスタム設定

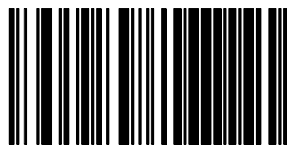


設定をカスタム設定に戻す



カスタム設定をする

ソフトウェアバージョン

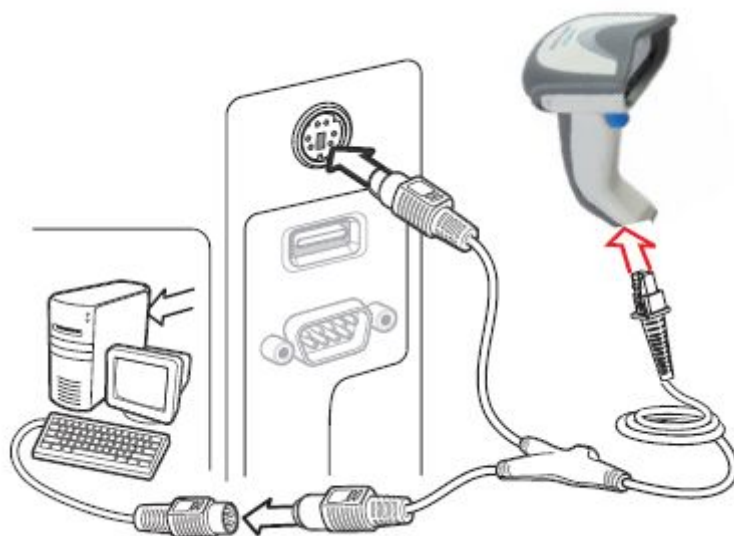


ソフトウェアバージョン送信

RS232C ケーブル接続方法



キーボードウエッジ ケーブル接続方法



USB ケーブル接続方法



ベースステーションセットアップ (GBT4130)

ベースステーションは縦置き又は横置きにすることができます。

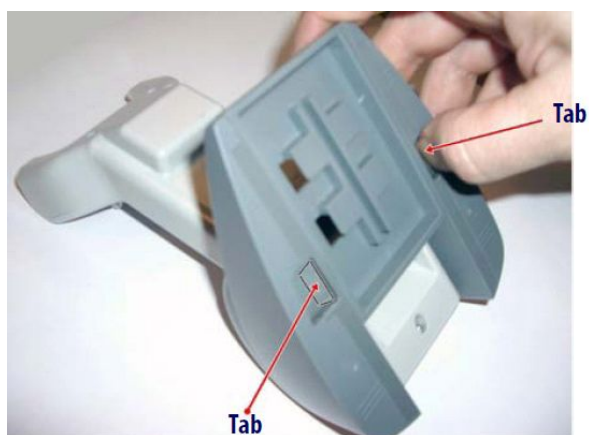


縦置き



横置き

置き方を変更するにはベースステーションの裏側の”Tab”を押してそれぞれ両側の部分を引っ張ります



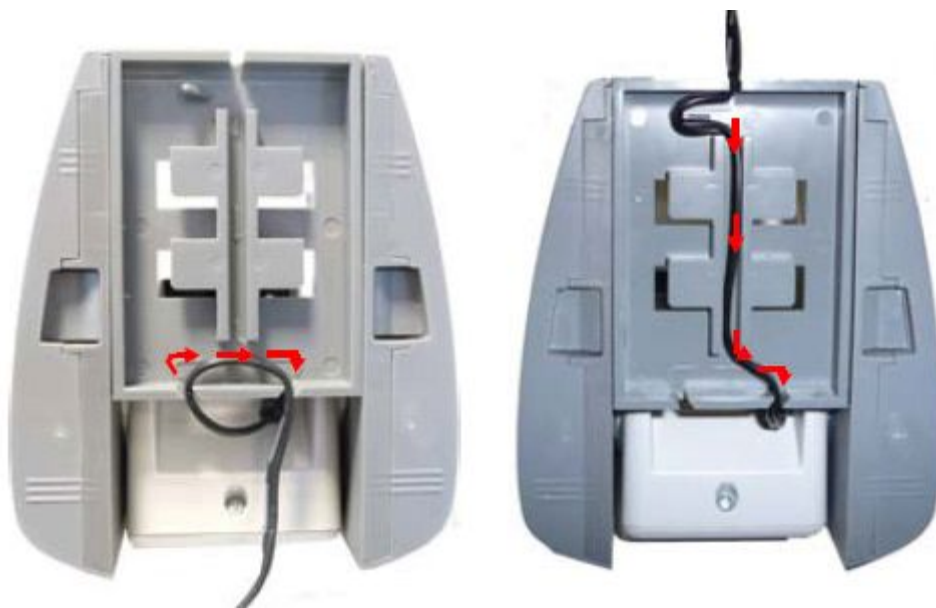
縦置き、横置きの溝に合わせてはめ込みます。



縦置き

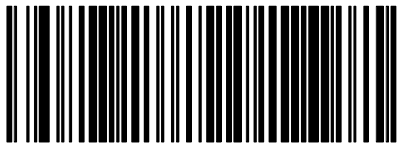
横置き

電源コードは下記のように取り回します。



2. RS-232, USB-COM 設定

インターフェイスの選択



RS232



USB-COM

USB-COM インターフェイスは別途ドライバーソフトが必要です。ドライバーソフトと動作環境につきましては、ご購入された販売店もしくはデータロジックスキャニングまでお問合せ下さい。環境により動作しない場合もありますので、必ず動作確認を行うようお願いいたします。

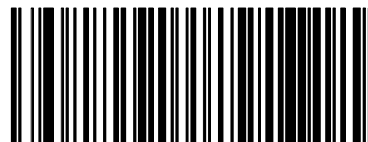
通信ボーレート (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



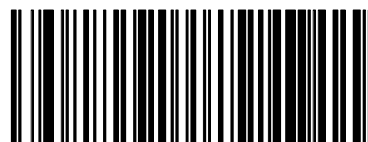
1200bps



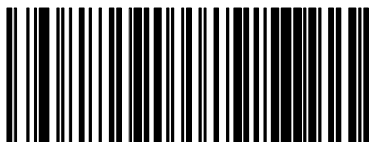
2400bps



4800bps



9600bps (初期値)



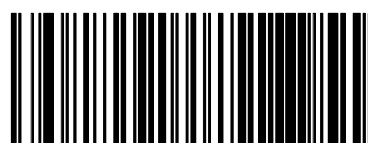
19200bps



38400bps



57600bps

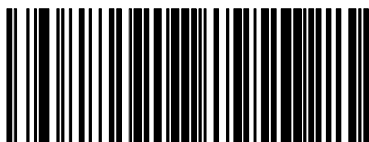


115200bps

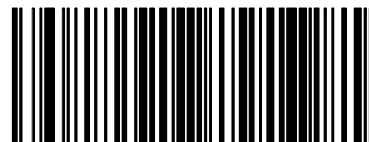
パリティ (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



なし (初期値)



Even



Odd

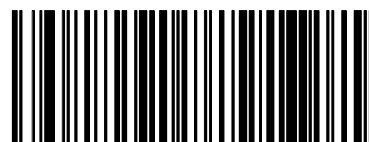
データビット (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



7bit

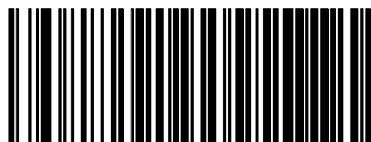


8bit (初期値)

ストップビット (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



1bit (初期値)



2bit

ハンドシェイク (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



RTS (初期値)



RTS/CTS



RTS/XON/XOFF



RTS On/CTS



RTS/CTS Scan Control

キャラクタ間遅延(RS232, USB-COM 設定可能)

キャラクタ間の遅延時間を設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。
設定範囲は0 ~ 990msec まで 10msec 単位で設定可能です。

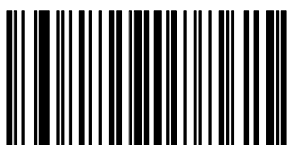
例) 00 → 0msec (初期値)

15 → 150msec

85 → 850msec



設定開始/終了



キャラクタ間遅延時間



キャンセル

ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)



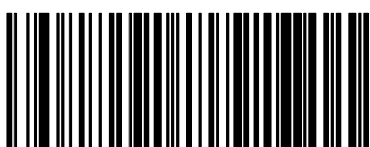
設定開始/終了



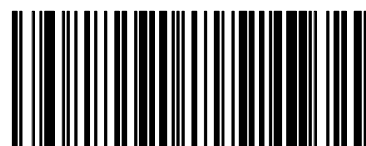
ACK/NAK 無効 (初期値)



ACK/NAK 有効(ラベル送信)



ACK/NAK 有効(ホストコマンド)



ACK/NAK 有効(ラベル送信 & ホストコマンド)

ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

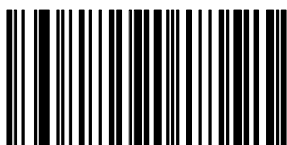
例) 06 → ACK (初期値)

24 → \$

3E → >



設定開始/終了



ACK キャラクタ設定

NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)

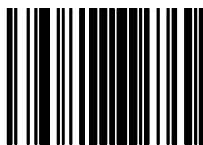
NAK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

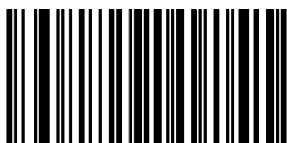
例) 15 → NAK (初期値)

24 → \$

3E → >



設定開始/終了



NAK キャラクタ設定

ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK NAK タイムアウト時間を設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

設定範囲は0.2～15.0secまで0.2sec単位で設定可能です。

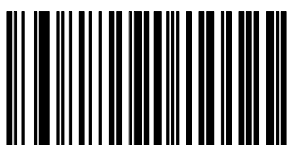
例) 01 → 0.2sec (初期値)

05 → 1.0sec

26 → 5.2sec



設定開始/終了



ACK NAK タイムアウト設定

ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK NAK リトライ回数を設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて3桁の数値を入力します。

設定範囲は0 ~ 254 回及び無制限まで設定可能です。

- 例) 000 → 0 回
- 003 → 3 回 (初期値)
- 255 → 無制限



設定開始/終了



ACK NAK リトライ回数

有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)

スキヤナの有効/無効コマンドキャラクタを設定します。

各設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します。

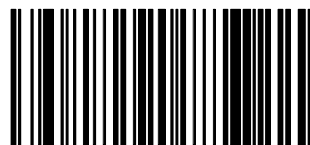
- 例) 44 → D (無効初期値)
- 45 → E (有効初期値)
- 7D → }
- FF → キャラクタを設定しない



設定開始/終了



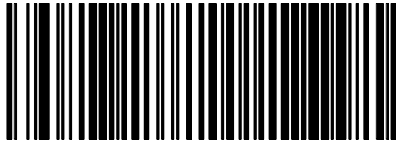
有効コマンド



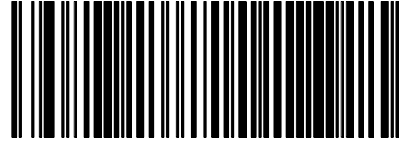
無効コマンド

3. キーボードウエッジ, USB キーボード

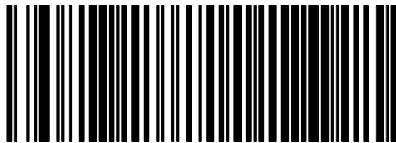
インターフェイスの選択



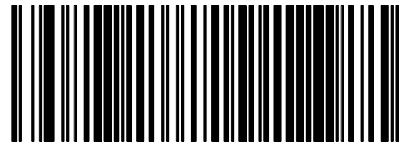
デスクトップキーボード



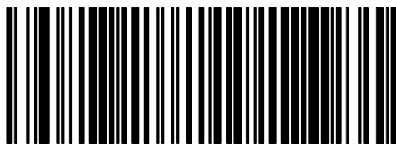
デスクトップキーボード(ALT モード)



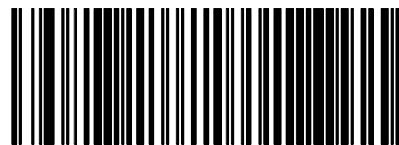
ノートブックキーボード



ノートブックキーボード(ALT モード)



USB キーボード

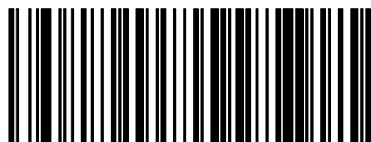


USB キーボード(ALT モード)

キーボード言語



設定開始/終了



日本語 106 キー

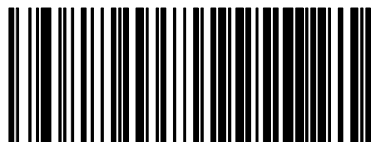


米国 (初期値)

Caps Lock



設定開始/終了



Caps Lock OFF(初期値)



Caps Lock ON

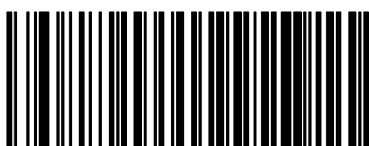


AUTO Caps Lock Enable

Num Lock



設定開始/終了



Num Lock アンチェンジ



Num Lock トグル

キャラクター間遅延

キャラクター間の遅延時間を設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。
設定範囲は0 ~ 990msec まで10msec 単位で設定可能です。

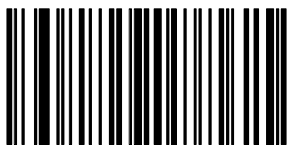
例) 00 → 0msec (初期値)

15 → 150msec

85 → 850msec



設定開始/終了



キャラクター間遅延時間



キャンセル

USB キーボード ポーリングレート



設定開始/終了



1ms(初期値)



2ms



3ms



4ms



5ms



6ms



7ms



8ms



9ms

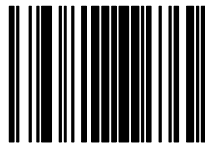


10ms

4. 機能設定

2度読み防止時間

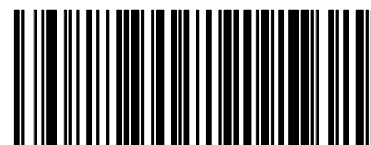
同一バーコードの2度読み防止をする時間の設定をします。



設定開始/終了



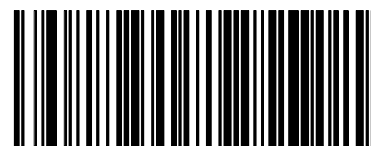
0.2sec



(初期値)0.4sec



0.6sec



0.8sec



1sec

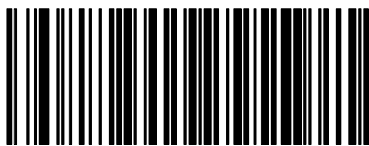
読取モード設定

スキャナの読取モードを設定します。

- ・ 標準トリガー：一般的なハンドヘルドスキャナの操作となります。トリガーを引き、下記状態になるまで読取可能になります
 - 約 5 秒間経過したとき
 - バーコードを読み取ったとき
 - トリガーを放したとき
- ・ トリガーホールド：トリガーを引いている間はバーコードを複数回読取可能です。但し、約 5 秒間読み取りがないと OFF となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ フラッシュ：約 1 秒毎に ON-OFF を繰り返します。
- ・ 常時 ON：トリガーを引くことなく常時 ON となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ スタンドモード：トリガーを引くことなくバーコードを近づけたときに自動的に読み取りをします。読み取りがない時は緑色スポット ON となります。この状態でトリガーを引いたときは、標準トリガーと同様の機能となります



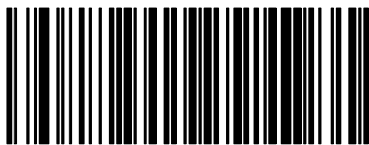
設定開始/終了



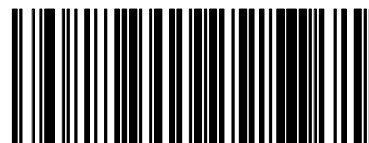
標準トリガー（初期値）



トリガーホールド



フラッシュ



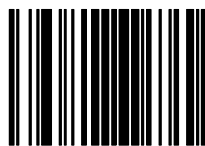
常時 ON



スタンド*

* GryphonL GD4330 では使用出来ません。

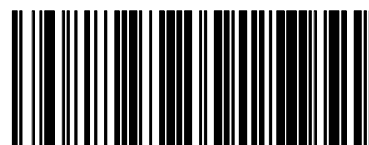
スリープモード設定



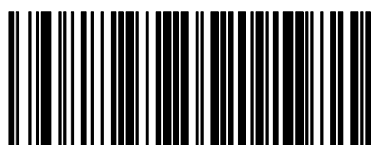
設定開始/終了



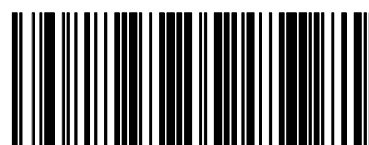
無効(初期値)



2sec



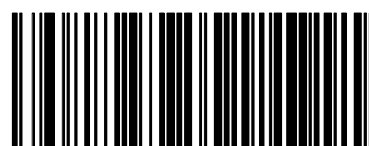
4sec



6sec



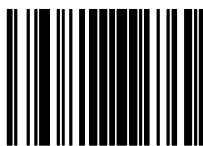
8sec



9.9sec

読取表示

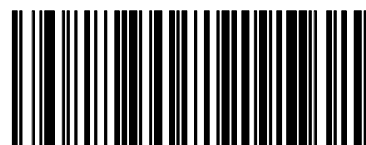
読取確認の表示するタイミングを設定します



設定開始/終了



デコード後(初期値)



データ送信後

読取確認音

読取確認音の種類を設定します



設定開始/終了



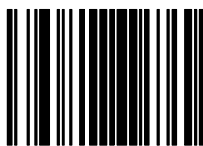
モノラル(初期値)



ステレオ

読取確認音質

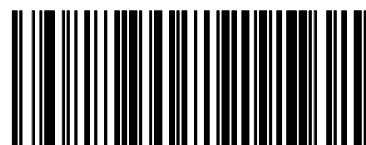
読取確認音質の種類を設定します(PBT7100はBluetooth設定の頁をお使い下さい)



設定開始/終了



低音



中音



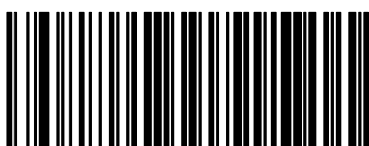
高音(初期値)

読取確認音長さ

読取確認音長さ設定します。(PBT7100はBluetooth設定の頁をお使い下さい)



設定開始/終了



80msec(初期値)



120msec



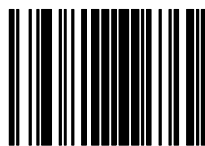
160msec



200msec

読取確認音量

読取確認音量を設定します(PBT7100 は Bluetooth 設定の頁をお使い下さい)



設定開始/終了



OFF



小



中



大 (初期値)

読取確認 LED 表示

読取確認後の本体緑色 LED 表示時間を設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 3 桁の数値を入力します。

設定範囲は 0.1～25.5sec およびトリガーを引くまで表示が設定可能です。

例) 000 → トリガーを引くまで表示

020 → 2sec (初期値)

255 → 25.5sec



設定開始/終了



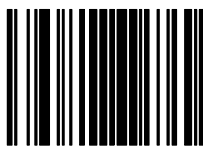
LED 表示設定



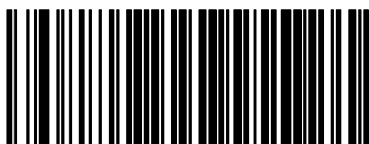
キャンセル

グリーンスポット表示

読取確認グリーンスポット表示長さを設定します。



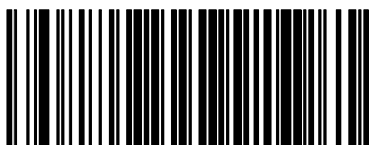
設定開始/終了



OFF



300msec (初期値)



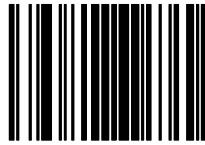
500msec



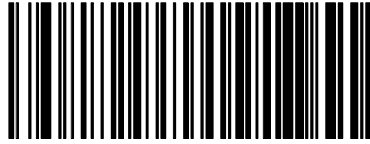
800msec

5. バーコード設定

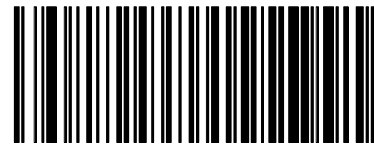
EAN/JAN13



設定開始/終了

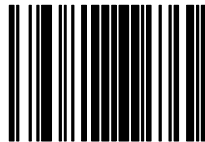


EAN/JAN-13 有効 (初期値)

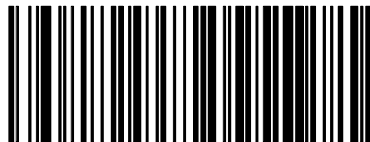


EAN/JAN-13 無効

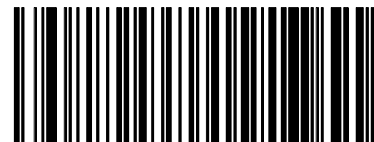
EAN/JAN13 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

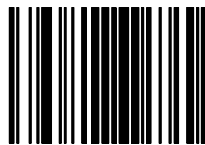


送信有効 (初期値)

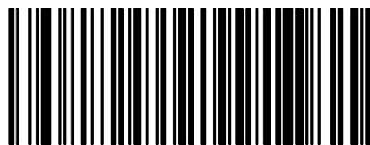
EAN/JAN13 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

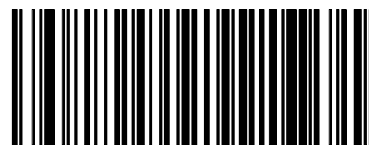
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回



4回

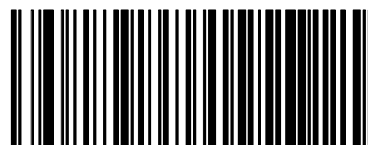
EAN/JAN 8



設定開始/終了



EAN/JAN 8 有効 (初期値)



EAN/JAN 8 無効

EAN/JAN 8 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効 (初期値)

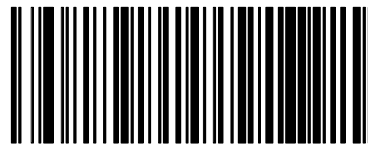
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

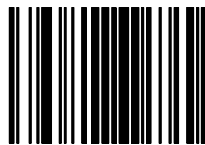


変換有効

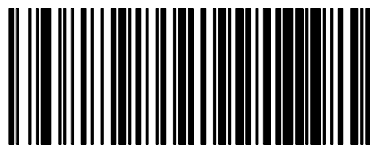
EAN/JAN 8 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

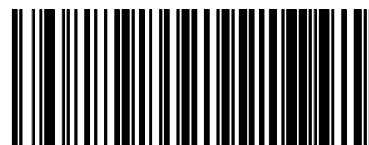
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回



4回

UPC-A/UPC-E
UPC-A



設定開始/終了



UPC-A 無効



UPC-A 有効(初期値)

UPC-A チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効 (初期値)

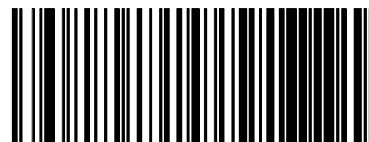
UPC-A → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)



変換有効

UPC-E



設定開始/終了



UPC-E 無効



UPC-E 有効(初期値)

UPC-E チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効 (初期値)

UPC-E → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)



変換有効

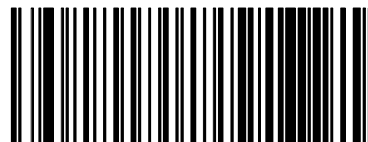
UPC-E → UPC-A 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)



変換有効

UPC-E デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



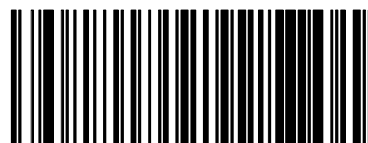
1 回



2 回 (初期値)



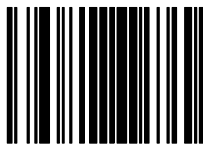
3 回



4 回

GTIN 変換

EAN/JAN13,EAN/JAN8,UPC-A,UPC-E を GTIN 14 桁の形式に変換の設定をします。



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

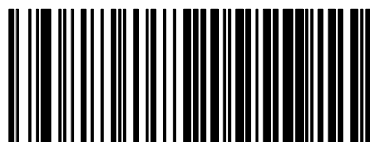


変換有効

EAN/JAN / UPC アドオン



設定開始/終了



2 桁無効 (初期値)



2 桁有効

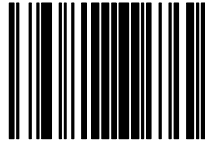


5 桁無効 (初期値)

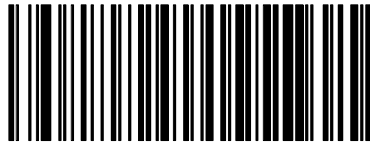


5 桁有効

Code39

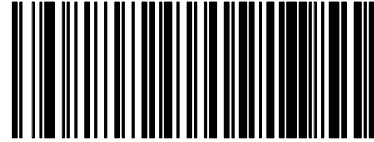


設定開始/終了

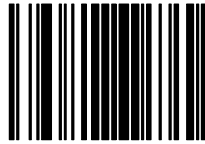


Code39 無効

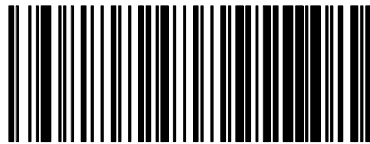
Code39 有効 (初期値)



Code39 チェックデジット計算

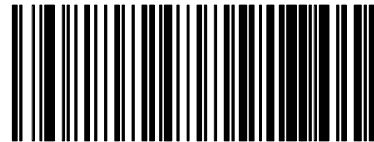


設定開始/終了



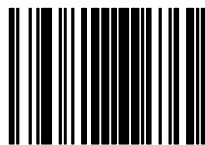
無効(初期値)

標準



Mod 7

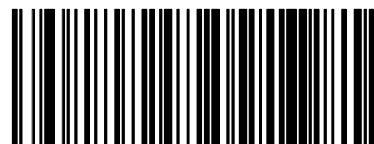
Code39 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効 (初期値)

Code39 スタート/ストップキャラクタ送信



設定開始/終了



送信無効(初期値)



送信有効

Code39 Full ASCII 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

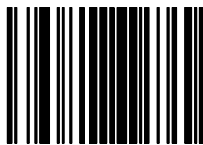


変換有効

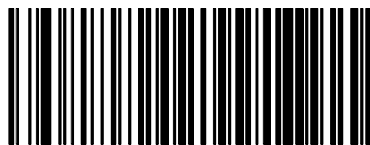
Code39 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

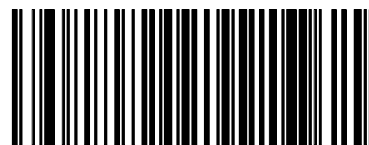
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値 : PowerScan)



2回(初期値 : QuickScan,Gryphon)



3回



4回

Code39 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code39 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

- 例) 02 → 2桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
50 → 50桁 (桁数設定2)



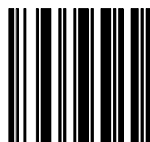
設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2



キャンセル

Code128



設定開始/終了



Code128 無効



Code128 有効 (初期値)

Code128 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効 (初期値)

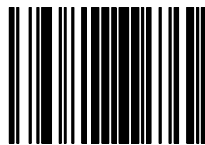


送信有効

Code128 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回



4回

Code128 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code128 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

- 例) 01 → 1桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
80 → 80桁 (桁数設定2)



設定開始/終了



桁数設定1



桁数設定2

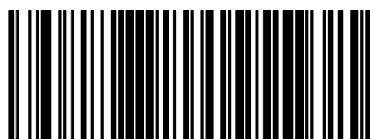


キャンセル

GS1-128



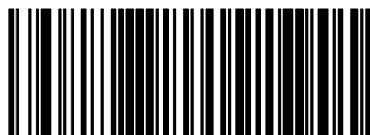
設定開始/終了



GS1-128 ラベルを
Code128 フォーマット送信



GS1-128 ラベルを
GS1-128 フォーマット送信
(初期値)



GS1-128 無効

12 OF 5



設定開始/終了



12 OF 5 無効 (初期値)



12 OF 5 有効

12 OF 5 チェックデジット計算



設定開始/終了



無効 (初期値)



Mod10

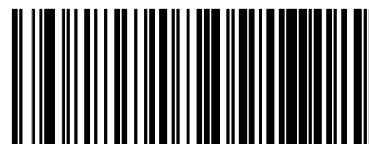
12 OF 5 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

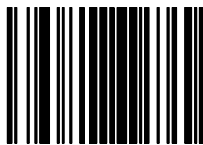


送信有効 (初期値)

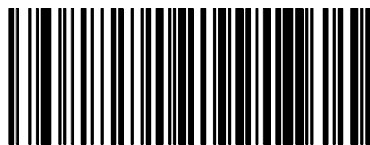
12 OF 5 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

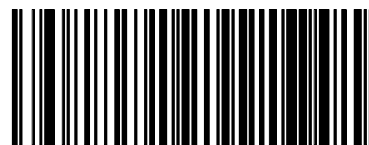
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値 : PowerScan)



2回(初期値 : QuickScan, Gryphon)



3回



4回

12 OF 5 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

12 OF 5 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。
注意) 12 OF 5 の場合桁数は偶数桁で入力して下さい。1の位を奇数で読み込んだ場合は入力を受け付けないので、再度偶数のバーコードを読取ってください。

例) 06 → 6 桁 (桁数設定 1)
14 → 14 桁
50 → 50 桁 (桁数設定 2)



設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2



キャンセル

CODABAR



設定開始/終了



CODABAR 無効 (初期値)



CODABAR 有効

CODABAR チェックデジット計算



設定開始/終了



無効 (初期値)



有効

CODABAR チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効(初期値)



送信有効

CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効(初期値)

CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット



設定開始/終了



ABCD/TN*E



ABCD/ABCD



abcd/tn*e

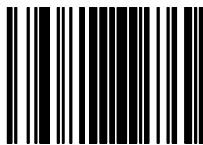


abcd/abcd (初期値)

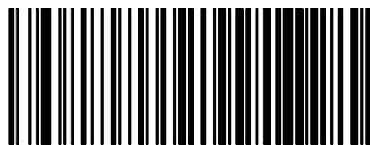
CODABAR デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回(初期値 : PowerScan)



2回(初期値 : QuickScan, Gryphon)



3回



4回

CODABAR 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

CODABAR 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

- 例) 03 → 3桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
50 → 50桁 (桁数設定2)



設定開始/終了



桁数設定1

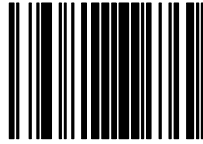


桁数設定2

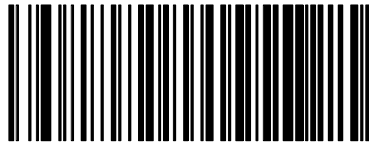


キャンセル

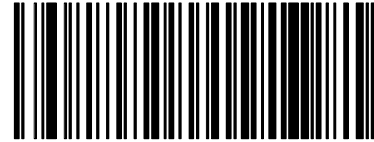
Code93



設定開始/終了

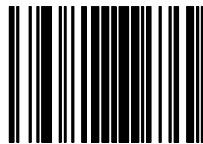


Code93 無効(初期値)

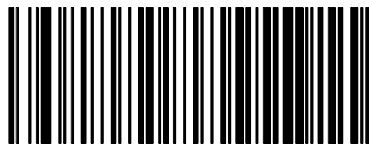


Code93 有効

Code93 チェックキャラクタ計算



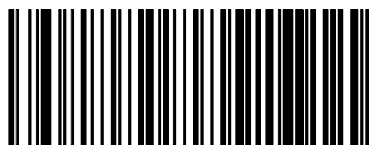
設定開始/終了



無効



キャラクタ “C”



キャラクタ “K”



キャラクタ “C 及び K”
(初期値)

Code93 チェックキャラクタ送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効(初期値)

Code93 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回



4回

Code93 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code93 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

- 例) 01 → 1桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
50 → 50桁 (桁数設定2)



設定開始/終了



桁数設定1



桁数設定2



キャンセル

GS1 DataBar オムニダイレクト



設定開始/終了



GS1 DataBar オムニダイレクト無効 (初期値)



GS1 DataBar オムニダイレクト有効

GS1 DataBar オムニダイレクト EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

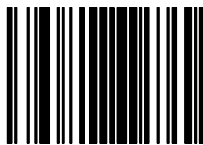


有効

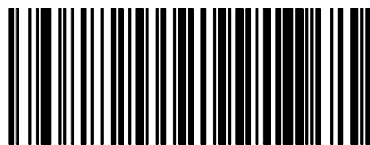
GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

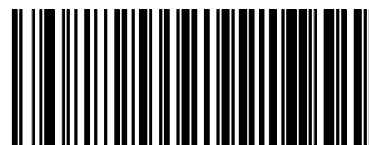
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回



4回

GS1 DataBar エクспанテッド



設定開始/終了



GS1DataBar エクспанテッド無効 (初期値)



GS1 DataBar エクспанテッド有効

GS1 DataBar エクспанテッド EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

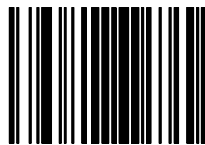


有効

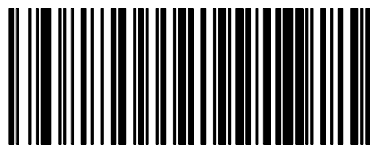
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数

読取データ的一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回

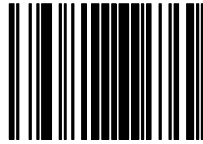


3回

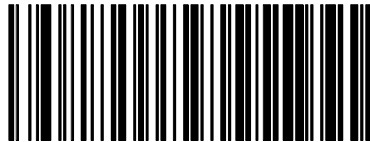


4回

GS1 DataBar エクспанテッド デコード桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

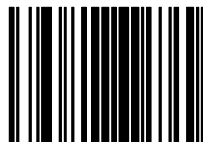


固定

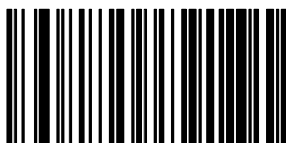
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

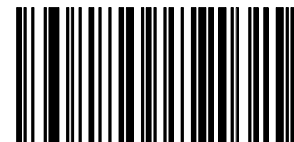
- 例) 01 → 1桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
74 → 74桁 (桁数設定2)



設定開始/終了



桁数設定1



桁数設定2



キャンセル

GS1 DataBar リミテッド



設定開始/終了



GS1 DataBar リミテッド無効 (初期値)



GS1 DataBar リミテッド有効

GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

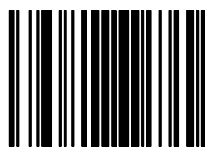


有効

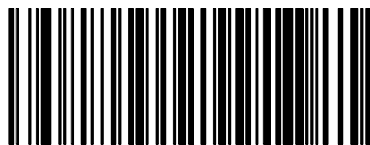
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1回 (初期値)



2回



3回

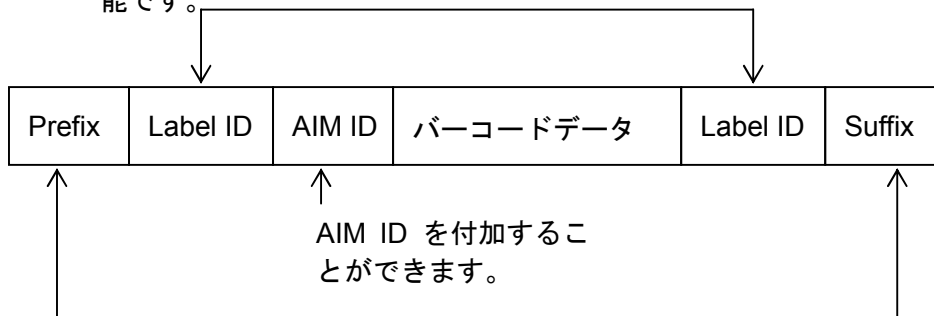


4回

6. データ編集

データ編集の概要

Label ID はバーコードデータ
前後どちらかに付加するこ
とができます。Label ID は3キ
ャラクタ (ASCII) まで設定可
能です。



20 キャラクタ (ASCII)
まで設定可能です。

Prefix / Suffix

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。20 キャラクタまで設定可能です。20 キャラクタ未満の場合は入力後「設定開始/終了」バーコードを2回スキャンして下さい。

例) \$ → 「2」「4」



設定開始/終了

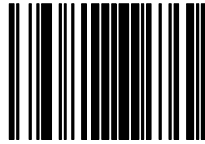


Prefix 設定

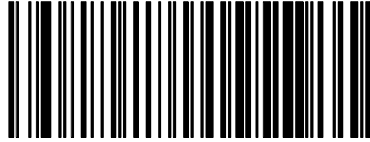


Suffix 設定

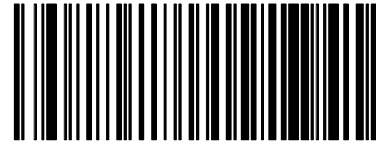
AIM ID



設定開始/終了



付加しない(初期値)

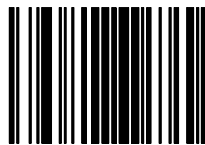


付加する

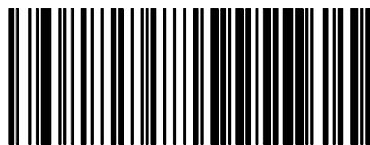
ラベル ID

ラベル ID コントロール

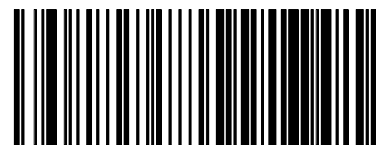
ラベル ID を付加する位置を設定します。



設定開始/終了



なし(初期値)



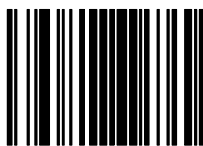
バーコードデータ前に付加



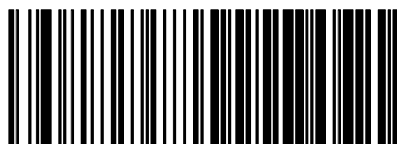
バーコードデータ後に付加

ラベル ID セット

スキャナには初期状態時に 2 種類のラベルセットが用意されています。



設定開始/終了



ラベルセット 1 (初期値)



ラベルセット 2

	セット1	セット2
CODABAR	%	R
CODE128	#	T
CODE39	*	V
CODE93	&	U
GS1DATABAR オムニダイレクト	R4	u
GS1DATABAR エクспанテッド	RX	t
GS1DATABAR リミテッド	RL	v
GS1-128		k
EAN/JAN13	F	B
EAN/JAN13 P2	F	L
EAN/JAN13 P5	F	M
EAN/JAN8	FF	A
EAN/JAN8 P2	FF	J
EAN/JAN8 P5	FF	K
I 2OF 5	i	N
UPCA	A	C
UPCA P2	A	F
UPCA P5	A	G
UPCE	E	D
UPCE P2	E	H
UPCE P5	E	I

ラベル ID 個別設定

手順	操作	例			
1	「設定開始/終了」を読取ります				
2	前頁のラベル ID コントロールで ID を付加する位置を設定します	前	後	前	後
3	ラベル ID を付加するバーコードを選択します				
4	ラベル ID (例)	DB*	=C3	+	PH
5	設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。	44 42 2A	3D 43 33	2B	50 48
6	「設定開始/終了」を読取ります				
7	「設定開始/終了」を読取ります				



CODABAR



CODE128



CODE39



CODE93



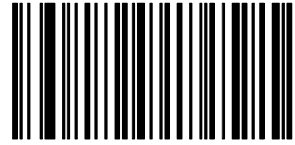
GS1DATABAR オムニダイレクト



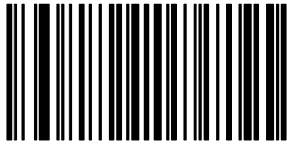
GS1DATABAR エクスパンテッド



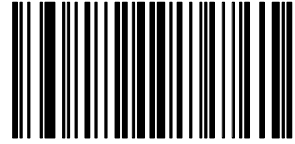
GS1DATABAR リミテッド



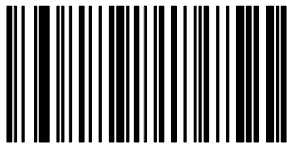
EAN/JAN13



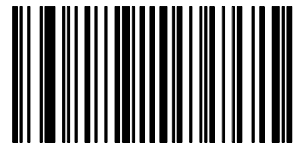
EAN/JAN13 P2



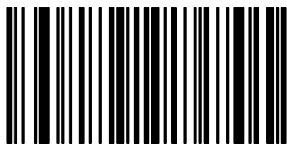
EAN/JAN13 P5



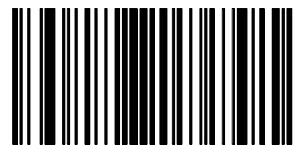
EAN/JAN8



EAN/JAN8 P2



EAN/JAN8 P5



I 2 OF 5



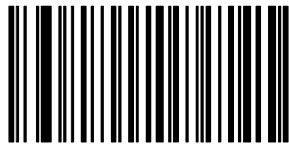
UPCA



UPCA P2



UPCA P5



UPCE P2



UPCE



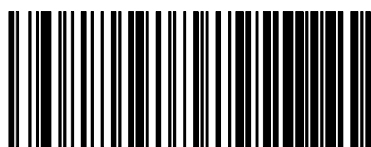
UPCE P5

大文字小文字変換

読取バーコードのデータの大文字(A~Z)小文字(a~z)変換を行います。
ラベル ID、Prefix,Suffix などの変換されません。



設定開始/終了



無効(初期値)



大文字変換

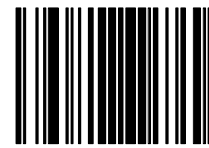


小文字変換

キャラクタ変換

4キャラクタの組合せまでの変換が可能です。

手順	操作	例
1	「設定開始/終了」を読取ります	
2	「設定変換」を読取ります。	
3	変換	A(41)→B(42) 1(31)→2(32)
4	巻末の「キーパッド」を用いての「ASCIIチャート」に対応した数値を入力します。 変換しない場合は「FF」となります	41423132FFFFFFFF
5	「設定開始/終了」を読取ります	



設定開始/終了



変換設定

(初期値:FFFFFFFFFFFFFFFF) 変換無し

7. Bluetooth 設定(PBT7130, GBT4130)

ベースステーション接続 (PBT7130)

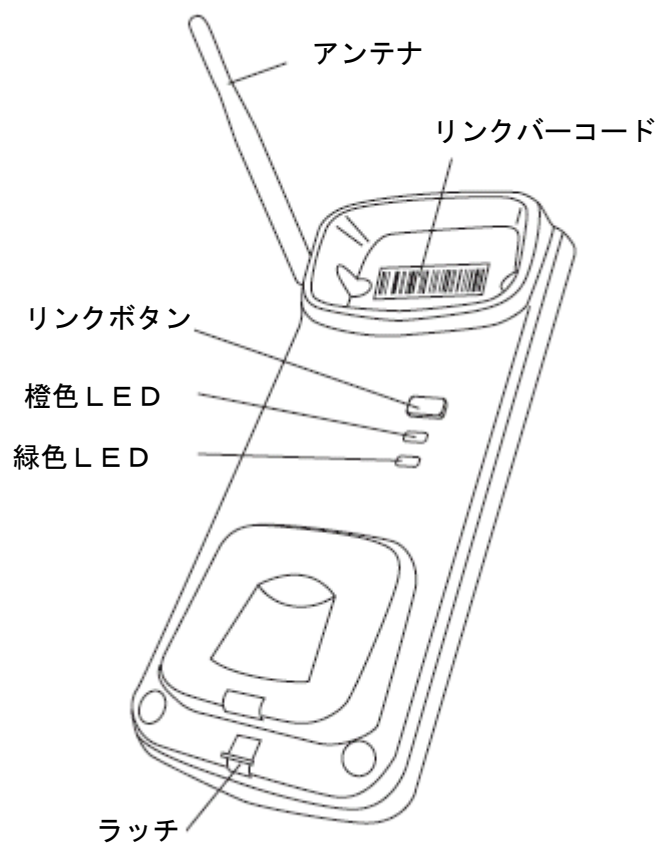
スキャナとベースステーションの接続をします。

1. ベースステーションのリンクボタンを1秒以上押してから放します。ベースステーションの橙色LEDが点滅します。
2. ベースステーションのリンクバーコードを読取ります。接続完了となるとスキャナの3回“低—中—高”ビープ音がなります。

ベースステーションの接続確認 (PBT7130)

スキャナとベースステーションの接続確認をします。

リンクボタンを押して放すとスキャナの5回ビープ音がなります。



ベースステーション接続 (GBT4130)

スキャナとベースステーションの接続をします。

1. Unlink のバーコードを読取ります。
2. スキャナのトリガーを引いてから、ベースステーションにスキャナを置きます。



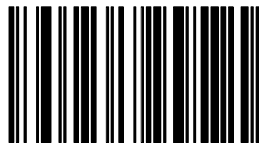
Unlink

ベースステーションの接続確認 (GBT4130)

スキャナとベースステーションの接続確認をします。

ベースステーションのボタンを押して放すとスキャナの5回ビープ音がなります。

PC 接続 - サーバーモード



PC 接続(サーバーモード)

接続時にエラーメッセージがある場合は、スキャナの BT セキュリティーを無効にする必要があります。

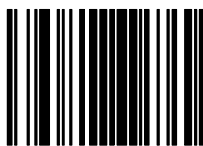
PC 接続 - クライアントモード

シリアルポートプロファイルを有した Bluetooth が有効な PC にクライアントモードで接続します。

1. PC Bluetooth のアドレスが含んだ設定バーコードを下記の書式で用意します。
バーコードは Code128 で作成します。
<F3>LnkB<12桁の bluetooth アドレス>
2. COM ポートをアサインします。
3. 1 で作成した設定バーコードを読取ります。

BT セキュリティーモード

Bluetooth の認証と暗号化の設定を行います。BT PIN コードと併用して用います。



設定開始/終了



無効(初期値)

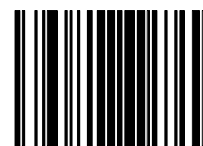


有効

BT PIN コード

Bluetooth の PIN コードの設定を行います。

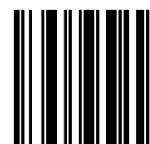
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。



設定開始/終了



BT PIN code
(初期値:1234 (31323334:ASCII))



キャンセル

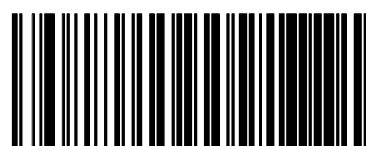
BT ポーリングレート



設定開始/終了



最大



10ms



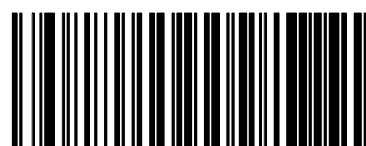
20ms(初期値)



30ms



50ms



100ms



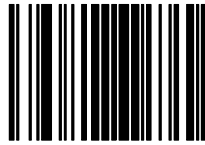
200ms



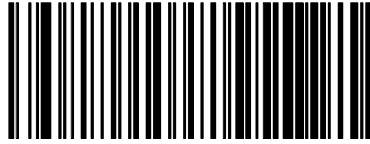
500ms

ビープ音質

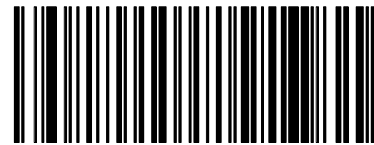
ビープ音質の種類を設定します。



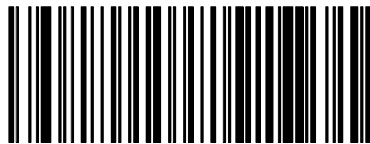
設定開始/終了



低音(初期値)



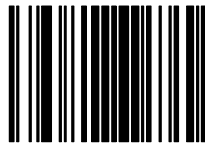
中音



高音

ビープ音量

ビープ音量のを設定します。



設定開始/終了



小



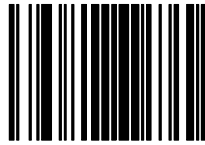
中



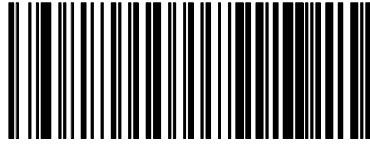
大(初期値)

ビーブ音長さ

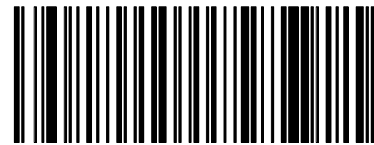
ビーブ音長さ設定します。



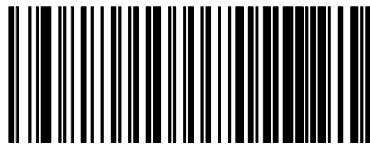
設定開始/終了



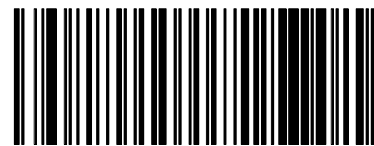
80msec(初期値)



120msec



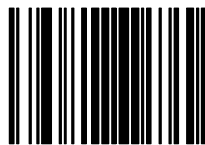
160msec



200msec

ベースステーション確認音

スキャナをベースステーションに置いたときの確認音の設定をします。



設定開始/終了



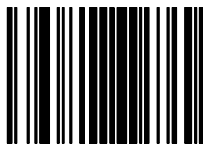
無効



有効(初期値)

通信圏外アラーム

通信圏外となった時のアラーム音長さ設定をします。
この設定を有効にするにはスリープモードを「無効」にして下さい。



設定開始/終了



無効(初期値)



1 sec



3sec



5sec



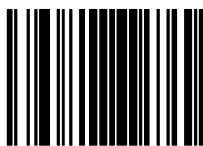
10sec



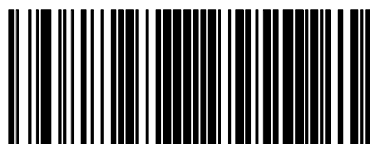
25sec

パワーダウン時間

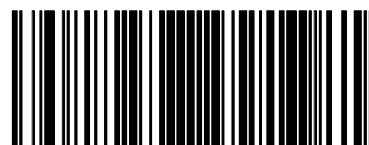
スキャナがアイドル時に自動的にパワーOFFになる時間を設定します



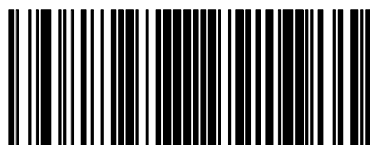
設定開始/終了



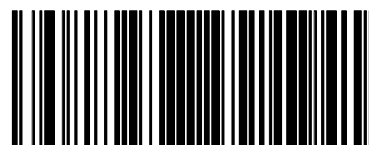
無効



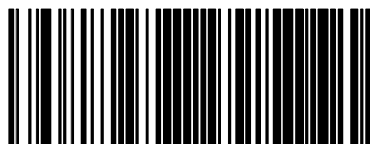
10分



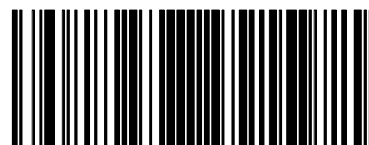
20分



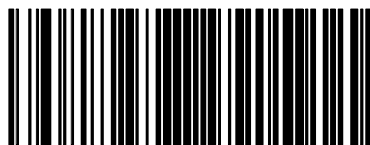
30分



40分



60分(初期値)



90分

バッチモード

通信切断されているときにバーコードの読取データをスキヤナに一時的に保存する設定をします。

無効 : スキヤナは読取データを保存しません

オート : 通信切断時にバーコードデータをスキヤナに一時的に保存します。通信が接続された時にデータを転送します。

マニュアル : 常時、読取データをスキヤナに保存します。保存データは、「データ送信」バーコードを読取るとデータを送信します。また「データ消去」を読取ると、スキヤナに保存されたデータを消去することができます。



設定開始/終了



無効(初期値)



オート



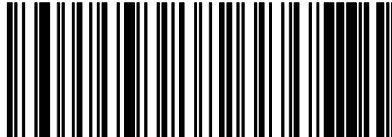
マニュアル

<F3>BatchSend



マニュアル データ送信

<F3>BatchClear



マニュアル データ消去

データ送信、データ消去のバーコードは CODE128 で作成されています。

付録 A. LED 表示とビーパー音

GD4130, QD2130, GBT4100 スキャナ本体

表示内容	LED 表示	ビーブ音
電源 ON		高音 4 回
読取成功	緑	モノトーン
スキャナ無効 (ホストコマンドより)	点滅	-
プログラミングモード(以下の表示はプログラミングモードの場合になります)		
プログラミングモード切替時	点滅	低音 4 回
ラベル読取違い	-	低音 3 回
プログラムに続きがある時	-	高音 1 回
プログラム失敗	-	低音 3 回
プログラム終了時	-	高→低音 3 回→高 4 回

GBT4100 ベースステーション



表示内容	LED 表示
電源 ON	黄
データ、コマンド受信	黄点滅
充電中	赤
充電完了	緑
スキャナが正しい位置に置かれていない	赤緑交互点滅
ホストとの通信が出来ていない。又はホストコマンドでスキャナが無効になっている	ゆっくり黄点滅
充電エラー	ゆっくり赤緑交互点滅

PD7130, PBT7100 スキャナ本体

表示内容	LED 表示	ビープ音
電源 ON		高音 4 回
読取成功	緑	モノトーン
スキャナ無効 (ホストコマンドより)	点滅	-
プログラミングモード(以下の表示はプログラミングモードの場合になります)		
プログラミングモード切替時	点滅	低音 4 回
ラベル読取違い	-	低音 3 回
プログラムに続きがある時	-	高音 1 回
プログラム失敗	-	低音 3 回
プログラム終了時	-	高→低音 3 回→高 4 回

PBT7100 BT 機能

表示内容	スキャナ LED	ベース LED	ビープ音
リンク中	ゆっくり 黄点滅	ゆっくり 黄点滅	
リンク成功			低→中→高音
リンク失敗			高→低→高→低音
アンリンク又は切断	OFF	OFF	高→中→低音
バッテリー残量低下	10 回 緑点滅		高音 10 回
バッテリーシャットダウン			高→中→低音
切断中の読取			長めの 1 回低音
アンリンク中の読取			高→低→高→低音
バッテリー充電中	緑点滅		
バッテリー充電完了	緑点灯		
バッテリー充電エラー	黄 0.5 秒 ON 1.5 秒 OFF		

付録 B. 初期値一覧

RS-232, USB-COM 設定	
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)	9600
パリティ (RS232 のみ設定可能)	None
データビット (RS232 のみ設定可能)	8bit
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	1bit
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	無効
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	無効
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	ACK
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	NAK
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	600ms
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	3 回
有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	D / E
キーボードウエッジ, USB キーボード	
キーボード言語	米国
Caps Lock	OFF
Num Lock	アンチェンジ
キャラクタ間遅延	なし
USB キーボードポーリングレート	1ms
機能設定	
2度読み防止時間	0.4s
スリープモード設定	無効
読取表示	デコード後
読取確認音	モノラル
読取確認音質	高音
読取確認音長さ	80ms
読取確認音量	大
読取確認 LED 表示	2s
グリーンスポット表示	300ms
バーコード設定	
EAN/JAN13	有効
EAN/JAN13 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN13 デコード検証回数	1 回
EAN/JAN 8	有効
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	無効
EAN/JAN 8 デコード検証回数	1 回
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット送信	有効
UPC-A → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E → UPC-A 変換	無効
UPC-E デコード検証回数	2 回
GTIN 変換	無効
EAN/JAN / UPC アドオン	2 桁:無効 5 桁:無効
Code39	有効

Code39 チェックデジット計算	無効
Code39 チェックデジット送信	有効
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	無効
Code39 Full ASCII 変換	無効
Code39 デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
Code39 桁数	可変
Code39 桁数設定1	2 桁
Code39 桁数設定2	50 桁
Code128	有効
Code128 チェックデジット送信	無効
Code128 デコード検証回数	1 回
Code128 桁数	可変
Code128 桁数設定1	1 桁
Code128 桁数設定2	80 桁
GS1-128	GS1-128 送信
I 2 OF 5	無効
I 2 OF 5 チェックデジット計算	無効
I 2 OF 5 チェックデジット送信	有効
I 2 OF 5 デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
I 2 OF 5 桁数	可変
I 2 OF 5 桁数1	6 桁
I 2 OF 5 桁数2	50 桁
CODABAR	無効
CODABAR チェックデジット計算	無効
CODABAR チェックデジット送信	無効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	無効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	abcd/abcd
CODABAR デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
CODABAR 桁数	可変
CODABAR 桁数設定1	3 桁
CODABAR 桁数設定2	50 桁
Code93	無効
Code93 チェックキャラクタ計算	C 及び K
Code93 チェックキャラクタ送信	有効
Code93 デコード検証回数	1 回
Code93 桁数	可変
Code93 桁数設定1	1 桁
Code93 桁数設定2	50 桁
GS1 DataBar オムニダイレクト	無効
GS1 DataBar オムニダイレクト EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数	1 回
GS1 DataBar エクспанテッド	無効
GS1 DataBar エクспанテッド EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数	1 回
GS1 DataBar エクспанテッド デコード桁数	可変
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定1	1 桁

GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定2	74 桁
GS1 DataBar リミテッド	無効
GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	1 回
データ編集	
prefix	00(無し)
Suffix	OD(CR)
AIM ID	付加しない
ラベル ID コントロール	無効
ラベル ID セット	セット1
大文字小文字変換	無効
キャラクタ変換	変換無し
Bluetooth 設定	
BT セキュリティモード	無効
BT PIN コード	1234
BT ポーリングレート	20ms
ビープ音質	低音
ビープ音量	大
ビープ長さ	80ms
ベースステーション確認音	有効
通信圏外アラーム	無効
パワーダウン時間	60 分
バッチモード	無効

付録 C. キーパッド



0



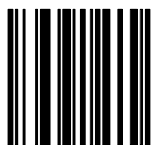
2



4



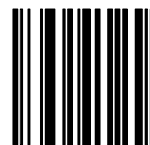
6



8



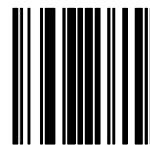
1



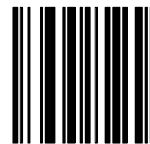
3



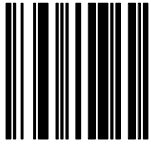
5



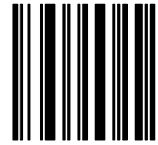
7



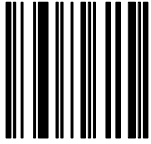
9



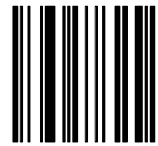
A



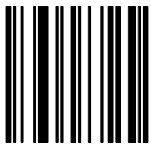
B



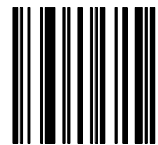
C



D



E



F

付録 D. ASCII チャート

ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.
NUL	00	SP	20	@	40	'	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	“	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(28	H	48	h	68
HT	09)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F



www.datalogicscan.jp